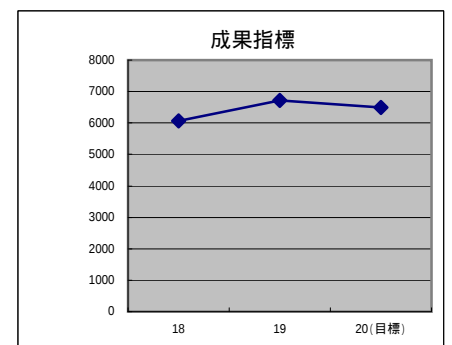
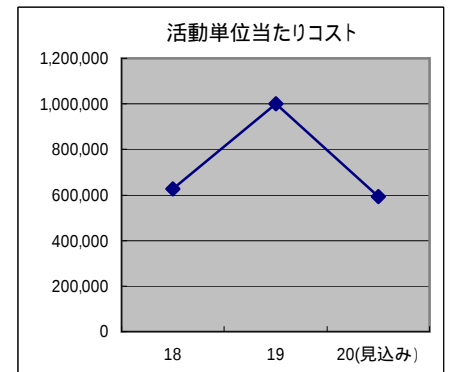


事務事業名		小中学校学校開放業務		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	10	教育費	
					項	6	保健体育課	
					目	1	保健体育総務費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	事業	1	社会体育		
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション					
	施策の方向	(3)	施設の有効活用と効率的な管理運営	作成部署	教育委員会事務局生涯学習室スポーツ振興課			
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4412			
事業の目的								
対象(誰を・何を)								
市内在住・在学・在勤者が10名以上で構成された学校開放登録申請団体								
意図(どういう状態にしたいのか)								
羽曳野市立小学校及び中学校の施設を学校教育に支障のない範囲で開放し、社会体育の振興を図る。								
市内在住、在勤、在学者10名以上が所属し、市内に居住する20歳以上の者が代表者である団体が申請を行い、審査の結果適正と認められる団体に対して利用登録承認証を発行する。								
団体は、羽曳野市立小学校(14校)及び中学校(6校)の下記施設を各校と調整を行いながら使用する。								
対象施設 : 校庭(休日等及び長期休業日午前9時～午後5時)								
屋内運動場等(上記及び平日午後6時～9時)								
プール(夏季休業日のうち、教育委員会が指定する日午前9時～午後4時)								
根拠法令等		スポーツ振興法・羽曳野市立学校施設の開放に関する規則						
事業開始時期		☐ 昭和 ☐ 平成 年 月開始 ☒ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度						
事業開始時からの状況変化		登録団体が増加している。						
市民や議会の要望		本事業で利用が充足されない場合、新たな活動場所を求める声がある。						
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託 名称 ☐ 民間委託 委託内容						

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		99	100	100
人件費【2】 (千円)		528	900	492
職員数	正規職員	0.02 人	0.05 人	0.03 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.15 人	0.20 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		627	1,000	592
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	627	1,000	592
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
団体登録回数 回		1	1	1
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		627,000 円	1,000,000 円	592,000 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		5 円	8 円	5 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	登録団体人数(人)	式)	学校開放の登録団体人数	目標	6,000	6,500	達成率(%)
				実績	6,066	6,727	103.5%
	登録団体数(団体)	式)	学校開放の登録団体数	目標	220	250	達成率(%)
				実績	237	270	108.0%

